

第6章 閉鎖経済における短期のマクロ経済理論 <目標と学習要領> (p.66~78)

6-1 財市場および貨幣市場の需給均衡条件

6-1-1 IS 曲線：財市場の需給均衡条件

IS 曲線を導出するにあたり、**産出量（所得）と利子率の2変数を内生変数として財市場の均衡を定式化**しなさい。次に、縦軸に利子率，横軸に産出量をとった平面上で**財市場の均衡を達成する産出量と利子率の組み合わせ（IS 曲線）**を描きなさい。

IS 曲線の傾きを決定する外生変数を挙げなさい。また IS 曲線をシフトさせる外生変数を挙げ、それらの変化がどのようなシフトをもたらすか説明しなさい。

6-1-2 LM 曲線：貨幣市場の需給均衡条件

LM 曲線を導出するにあたり、**産出量（所得）と利子率の2変数を内生変数として貨幣市場の均衡を定式化**しなさい。次に、縦軸に利子率，横軸に産出量をとった平面上で**貨幣市場の均衡を達成する産出量と利子率の組み合わせ（LM 曲線）**を描きなさい。

LM 曲線の傾きを決定する外生変数を挙げなさい。また LM 曲線をシフトさせる外生変数を挙げ、それらの変化がどのようなシフトをもたらすかを説明しなさい。

6-1-3 IS-LM モデルの均衡：財・貨幣市場と労働市場との関連

IS-LM モデルを用いて、財市場と貨幣市場の同時均衡を説明しなさい。

過少雇用均衡とはどのような状態をさすか、IS-LM モデルを用いて説明しなさい。

6-2 経済政策の効果

6-2-1 モデルの拡張：政府部門の導入 / 6-2-2 財政政策の効果

政府部門を含む IS-LM モデルを用いて、(国債の市中消化による) 政府支出拡大政策が国民所得を増加させることを示しなさい。

政府支出増加にともなうクラウディング・アウト（効果）とは何か、IS-LM モデルを用いて説明しなさい。

6-2-3 金融政策の経済効果 / 6-3 金融政策が無効となる特殊な状態

金融緩和政策（日銀による通貨流通量の拡大）が実施されると、利子率と国民所得がどのように変化するか、IS-LM モデルを用いて説明しなさい。

投資の利子弾力性が小さくなると、金融政策が有効に機能しなくなるのはなぜか。 IS-LM モデルを用いて説明しなさい。

貨幣市場における**流動性の罠（Liquidity Trap）**とは何か、確認しなさい。また経済が流動性の罠に陥っている場合、金融政策が有効に機能しなくなるのはなぜか。IS - LM モデルを用いて説明しなさい。

第6章 問題演習

(経済変数の定義は一部を除き講義のそれと同じであるため、ここでは省略します)

1 (1) (2) のそれぞれについて、正しい文を 1 つ選びなさい。

(1) IS - LM モデルでは、

- (ア) 貨幣市場、株式市場、債券市場の 3 つの資産市場を想定している。
- (イ) 貨幣市場と債券市場のどちらかで需給不均衡が生じている。
- (ウ) IS 曲線の右 (上) 側では財市場が超過供給の状態にある。
- (エ) LM 曲線の左 (上) 側では貨幣市場が超過需要の状態にある。

(2) IS - LM モデルにおける財政・金融政策の効果について、

- (ア) 政府支出を拡大すると、IS 曲線が右上方向にシフトする。
- (イ) 通貨量を増加させると、LM 曲線が左上方向にシフトする。
- (ウ) 債券の買いオペレーションによる金融緩和の場合、利子率は変化しない。
- (エ) 政府支出拡大が国債の市中消化で賄われる場合、利子率は変化しない。

2 ある経済のマクロモデルが次式で示されるとき、財市場と貨幣市場を同時に均衡させる国民所得の大きさを求めなさい。(H15 東京都類題)

$$\begin{array}{ll} C = 0.6Y + 30 & I = 10 - 6 \cdot i \\ L = 0.04Y + 280 - 3 \cdot i & M = 760, P = 2 \end{array}$$

3 短期のマクロ経済モデルが次のように示されたとする。このモデルにおいて、完全雇用 (Y_F) を達成するために必要な政府支出の大きさ (G) を求めなさい。(H10 国税類題)

$$\begin{array}{ll} Y = C + I + G & L = 100 + 0.4Y - 10 \cdot i \\ C = 40 + 0.7(Y - T) & M = 220 \\ I = 80 - 6 \cdot i & P = 1.1 \\ T = 0.2Y & Y_F = 300 \end{array}$$